

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和7年5月15日(2025.5.15)

【公開番号】特開2024-133577(P2024-133577A)
 【公開日】令和6年10月2日(2024.10.2)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-184
 【出願番号】特願2024-107340(P2024-107340)
 【国際特許分類】
 H 0 4 N 1 9 / 7 0 (2 0 1 4 . 0 1)
 【 F I 】
 H 0 4 N 1 9 / 7 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和7年4月30日(2025.4.30)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

エンコーダが実行する、ビデオビットストリームを生成する方法であって、前記方法は、
 現画像の複数のサブ領域にパディングが適用されるかどうかを示す第1の決定に基づいて、
 前記パディングがラップアラウンドパディングを含むという第2の決定をするステップ
 と、

前記第1の決定及び前記第2の決定に基づいて、画像分割情報を生成するステップと、
 前記複数のサブ領域と、前記画像分割情報とに基づいて、前記現画像を符号化するステッ
 プと、

前記画像分割情報と、符号化された前記現画像を含むビデオビットストリームを生成する
 ステップと、を含み、

30

参照画像における動き補償された予測のための画素位置は、前記ラップアラウンドパディ
 ングに対応する構文要素に基づくクリッピングを実行することによって決定される、
 方法。

【請求項2】

前記現画像を符号化するステップの前に、前記パディングが前記ラップアラウンドパディ
 ングを含むことを示す前記第2の決定に基づいて、前記複数のサブ領域を前記ラップアラ
 ウンドパディングに基づき符号化するステップをさらに含み、

前記複数のサブ領域と、前記画像分割情報とに基づいて、前記現画像を符号化するステッ
 プは、

40

前記符号化された複数のサブ領域と、前記画像分割情報とに基づいて、前記現画像を符号
 化するステップを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項3】

前記画像分割情報は、オフセット値を含み、前記オフセット値は、インター予測における
 動き補償のためのラップアラウンド位置を計算するために使用されるルマサンプルのオフ
 セットを指定する、請求項1または2に記載の方法。

【請求項4】

前記画像分割情報が、前記現画像に対応するシーケンスパラメータセットに含まれる、請
 求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

50

前記画像分割情報が、前記シーケンスパラメータセットに含まれる少なくとも1つのフラグを含む、請求項4に記載の方法。

【請求項6】

前記複数のサブ領域が、ブリック、タイル、スライス、タイルグループ、サブ画像、又はサブ層のうち少なくとも1つを含む、請求項1から5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記パディングが、複数のサブ領域のうち、サブ領域の境界に適用される、請求項1から6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記境界が、前記サブ領域の垂直境界である、請求項7に記載の方法。

10

【請求項9】

前記境界が、前記サブ領域の水平境界である、請求項7に記載の方法。

【請求項10】

前記パディングが、複数のサブ領域のうち、サブ領域の垂直境界、及び前記サブ領域の水平境界に適用される、請求項1から9のいずれか一項に記載の方法。

【請求項11】

前記画像分割情報が、ラップアラウンドパディングのオフセット値を示す、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項12】

前記画像分割情報が、左パディング幅情報及び右パディング幅情報を示す、請求項1から3のいずれか一項に記載の方法。

20

【請求項13】

請求項1から12のいずれか一項に記載の方法を実行するように構成された装置。

【請求項14】

請求項1から12のいずれか一項に記載の方法をエンコーダに実行させるためのコンピュータプログラム。

30

40

50